

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 25 年度 第 4 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 25 年 8 月 30 日 午後 7:30～午後 8:30
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 6 階 7063 教室
- 3.理事総数 17 名
- 4.出席者数 8 名（書面表決書 5 名）
出席者（佐藤文宏、宇佐美彰朗、保原幸夫、森川貞夫、比嘉正樹、岩山海渡、藤田豊、
近藤克之 敬称略）
書面表決書（山西哲郎、吉村豊、前河洋一、鈴木良雄、黒田伸 敬称略）
オブザーバー（桜井由香、石川裕久、福田麦穂 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（7 月 18 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等が
なかったので承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として近藤克之氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第 3 号議案 各種届出および登記申請について
保原氏より下記事項について登記申請および届出が終了した旨報告があった。
■登記申請（東京法務局）
・代表理事の重任（平成 25 年 4 月 1 日付）
・本事務所の移転（平成 25 年 8 月 1 日付）および群馬事務所の住所変更（平成 24 年
9 月 29 日付）
■定款変更届け（東京都庁）
・第 2 条の主たる事務所およびその他の事務所の住所変更。
- 第 4 号議案 メルボルンマラソンについて
保原氏より現時点での申込状況について報告があり、今後の活動について審議を行った。
■参加申し込み者は 1 次募集時点より 15 名ほど増えて 85 名になった。
ただし、参加料未払いの方が 5 名程度いるので、対応していく。
あと 1 ヶ月で目標の 100 名を達成すべくプロモーション活動を継続する。
■Facebook の活用を観光局から要望されているので、岡田氏、黒田氏にも協力して貰う。
現時点では観光局が積極的に活用している。

第5号議案

各種ランニング教室について

保原氏より各事業の状況について報告があった。

■ J S I E マラソン完走教室

8月に入り、夏枯れ状態で参加者が1～3人で推移している。涼しくなって、秋の大会が近づくと増えてくると考えて、下期も継続することにした。

■ 熟年ランニングスクール

9月からの第6期も参加者が催行最低人数の10名を超えたので継続実施することになった。

■ 浦安・美走塾

第2回目は9～12月に実施予定。(小学校低学年、約30名)

講師は比嘉、石川両氏で調整中。

■ 岩手県大船渡市ランニング教室

7月27日(土)に、宇佐美氏とトレーナーの旦尾氏2名で実施した。

前日はゲリラ豪雨の影響で旦尾氏の現地到着が遅くなるなどのハプニングがあったが、当日の教室は無事開催することができた。

第6号議案

その他事業計画の具体化について

下記事業については担当理事から実施状況等について報告があった。

■ ラン・ブリッジ (藤田)

当初予定通り、月数回のペースで実施している。

9月は3回を予定しており、9月5日から上海、蘇州、9月12日からシンガポール、9月19日からタイ・バンコックに、それぞれ3泊4日で行く予定。

また、H I S と提携してブラジルのワールドカップ観戦ツアーも計画中である。

■ 第2回宜野湾ビーチサイド駅伝 (比嘉)

10月27日(日)の開催に向けて募集を開始した。

下記事業については担当理事から進捗説明があり、今後の進め方について審議を行った。

■ 韓国・中国ティーボール交流 (森川)

8月上旬に日本でアジア大会が開催されたが、国別対抗戦というよりは都市別対抗戦という形で市民レベルのチームを招待しての交流戦をイメージしている。

佐藤理事長と今後の具体化について検討していく事になった。

■ ゴルフイベント in Australia (佐藤)

来年2月にゴルフ大会の観戦とプレーをコンビネーションさせた形で実施予定。

岡田氏と詳細を詰めている。

■ 国際交流駅伝 (保原)

本年度から皇居での大会開催許可条件が厳しくなり、2月11日(祝)は千代田区の駅伝と重なるため許可されない可能性が高い。また、大使館員を含め在日外国人に参加機会を与えるためにも2月2日あるいは2月9日の日曜日開催で検討を進めている。

筑波大の留学生センターにも参加の働きかけをする。

「市民ランナー交流セミナー」については、ブレイン・ストーミングを行い下記の意見が出された。今後、実行委員会を開催し、次回理事会までには内容を確定することにした。実行委員会のメンバーは暫定的に本日出席者とする。

・市民ランニングクラブで“海外交流をやっている”、“海外交流をやりたい”というところがあれば、意見交換の場を設定することによって海外交流の手助けをする。

テーマのキーワードとして、“平和”、“友好”、“国際親善”などを入れるのも良いと思う。
(森川)

・海外マラソン参加等、海外に出かけて国際交流を図るのが主流だが、逆に海外のランナーに日本に来て貰って国際交流を図るというのも一つの発想。

東京マラソンを始め、日本の都市型マラソンへの海外からの参加者が少ないのも現状である。“多くの海外のランナーに日本のランニング大会を楽しんで貰うと共に、日本を楽しんで貰うためには何をしたら良いか”をテーマにシンポジウムを開催するのも意義があるのではないかと？

そうすれば、スポーツツーリズムを推進しようとしている観光庁などの協力も得られるのではないかと。(比嘉)

当協会としては、メルボルンマラソン日本事務局の経験を活かして、どこかのマラソン大会に海外から参加してくれた方を対象に“交流イベント”を開催するというのも考えられる。京都マラソンとメルボルンマラソンの姉妹提携を推進し、京都でやるのが海外からの参加者に興味を持って貰えるかも知れない。(保原)

・南蛮連合、横田ストライダーズ、相模原・・・など在外外国人ランニングクラブとの交流イベント、セミナーは考えられないかと？(桜井)

・セミナーとは別企画になるかも知れないが、練習会、BBQ+ランニングクリニック的な柔らかなイベントでランナーの交流を図るのも良いのではないかと？(藤田、石川)

保原氏より、個別事業を推進するためには1ヶ月1回の理事会のみでは不十分なので、事業毎に実行委員会を組織して進めたい旨提案があり、承認された。

実行委員会には理事以外の会員の方やサポーターの方にも加わって頂く事で活動の輪を広げたい。メンバーの選任は担当理事が行う事になった。

【計画事業一覧（後援事業を除く）】

- ①市民ランナー交流セミナー（保原、岩山、比嘉）
- ②国際交流駅伝（保原、岩山）
- ③J S I Eマラソン完走教室（宇佐美、保原）
- ④熟年ランニングスクール（宇佐美、保原）
- ⑤浦安・美走塾（保原、比嘉）
- ⑥メルボルンマラソン日本事務局（保原、黒田、岩山）
- ⑦「市民スポーツと海外交流を考える」シンポジウム（釜崎）
- ⑧川越・サッカー教室（釜崎）
- ⑨韓国・中国ティーボール交流（森川、佐藤）
- ⑩日本在住の外国人との交流事業（田村、黒田）
- ⑪ゴルフイベント in Australia（岡田、佐藤）

⑫ジュニア中長距離・サマーキャンプ in ケニア（保原、黒田、比嘉）

第7号議案 その他

■次回理事会について



本日欠席の理事の都合も確認した上で、9月24日(火)、9月26日(木)、9月27日(金)の中から決定することになった。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時30分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成25年8月30日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長	<u>佐藤 文宏</u>	
議事録署名人	<u>近藤 克己</u>	
議事録署名人	<u>保原 幸夫</u>	